

問1 室町時代、民衆が「徳政」を掲げて団結し、借金の帳消しを求めて土倉や酒屋を襲撃した行動の背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。当時の生活と貨幣の関わりについても触れた碑文などの記録を参考に考えなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)

1. 第一次世界大戦後の物価高騰に対し、富山県の主婦たちが米の値下げを求めて全国的な騒動に発展した。
2. 貨幣経済が農民の生活にまで浸透し、借金による生活の困窮が深刻化したため、実力行使による解決を図った。
3. 織田信長が城下町の商工業を活性化させるために、座の特権を廃止して自由な取引を認めた。
4. 豊臣秀吉が全国の土地の広さや収穫量を調査し、農民を土地に縛り付けることで年貢を確保しようとした。

問2 奈良時代において、疫病の流行や政治的な混乱から国家の安定をはかるため、仏教の力で国を守ろうとする思想を何と呼びますか。この思想に基づき、各地に国分寺や国分尼寺が建立されました。 (2017年 奈良県公立入試 類似)

1. 律令政治
2. 本地垂迹
3. 王土王民
4. 鎮護国家

問3 日本国憲法において、国会が制定した法律や内閣による行政処分などが、憲法の内容に違反していないかどうかを判断し、最終的な結論を出す権限を何といいますか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)

1. 行政代執行権
2. 法律案拒否権
3. 弾劾裁判権
4. 違憲審査権（法令審査権）

問4 アフリカ大陸の北部、特にサハラ砂漠を含む広範な地域において、人口の約8割が信仰しているとされる宗教は何ですか。その宗教の聖地が含まれる半島名と組み合わせせて答えなさい。 (2023年 奈良県公立入試 類似)

1. キリスト教（スカンジナビア半島）
2. 仏教（朝鮮半島）
3. ヒンドゥー教（インド半島）
4. イスラム教（アラビア半島）

問5 1990年から2018年にかけての主要国の統計において、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が減少傾向にあり、環境対策が進んでいるとされる国を次の中から選びなさい。 (2023年 奈良県公立入試 類似)

1. 日本
2. アメリカ合衆国
3. 中国
4. ドイツ

問6 日本の裁判員制度の仕組みや、制度が導入された背景・目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)

1. 裁判の長期化を防ぐため、国民が裁判官に代わって一人で判決を下せるようにすること。
2. 国民が持つ健全な社会常識や感覚を、裁判の内容や刑罰の決定に反映させること。
3. 最高裁判所の裁判官がその職務にふさわしいかどうかを、国民の投票によって判断すること。
4. 検察官が被告人を起訴しなかった判断が妥当であったかどうかを、国民が審査すること。

問7 飛鳥時代に聖徳太子が定めた十七条の憲法では、役人が守るべき心得が示されています。この憲法において、人々が争いをやめ協力し合うための「和」の精神とともに、篤く敬うべきものとして挙げられている「三宝（さんぼう）」の具体的な内容はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)

1. 仏（ほとけ）・法（みのり）・僧（ほうし）
2. 礼・義・信
3. 儒教・仏教・道教
4. 天皇・和・詔（みことり）

問8 所得の低い人ほど所得に対する税の負担割合が重くなる「逆進性」という問題が指摘される消費税に対し、所得税の累進課税にはどのような役割が期待されていますか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)

1. 高所得者の負担を重くすることで、税負担の垂直的な公平を図る役割
2. どんなに所得が低い人でも、等しく納税の義務を果たすようにする役割
3. 税率を一定に保つことで、政府の税収を安定させる役割
4. 輸出入のバランスを調整し、国内の産業を保護する役割

問9 日本の空港における旅客数の構成について、東京国際空港（羽田空港）の統計的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国内線と国際線の利用状況の違いに着目して選びなさい。 (2020年 奈良県公立入試 類似)

1. 成田国際空港と比較して国際線の発着枠が多いため、旅客全体では国際線の利用者が国内線の利用者を上回っている。
2. 地方空港とのネットワークを縮小しているため、旅客構成においては国内線よりも国際線の利用者が多くなっている。
3. 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。
4. 都心に近い利便性から、国内線と国際線の利用者がほぼ同数となるよう計画的に運用されている。

問10 豊臣秀吉が発した法令において、農民から刀や鉄砲などの武器を没収する際、農民たちの反発を和らげるために示された「没収した武器の用途」に関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)

1. 鉄砲や槍を農具に作り替え、開墾を進めるための道具として農村へ再配布する
2. 没収した武器を明などの外国へ輸出し、その利益で飢饉に備えるための米を購入する
3. 京都に建立する大仏の釘やかすがいなど、宗教的な建造物の材料として利用する
4. 朝廷に献上して武威を示すことで、天皇から全国支配の正当性を認めもらう

問11 日本の公的年金制度において、2000年から2020年にかけての人口推移を反映した現状を説明したものとして最も適切なものはどれか。なお、この期間において、保険料を支払う20歳以上60歳未満の世代は約6800万人から6000万人程度まで減少する一方、年金を受け取る65歳以上の世代は約2200万人から3600万人を超える規模まで急増しているものとする。 (2024年 奈良県公立入試 類似)

1. 年金を受け取る受給者が減少する一方で、保険料を支払う負担者が増加しているため、制度の財政基盤は以前よりも安定している。
2. 負担者と受給者の双方が減少しているため、年金制度の規模そのものが縮小し、社会保障費全体の抑制につながっている。
3. 保険料を支払う負担者が減少する一方で、年金を受け取る受給者が増加しているため、現役世代一人ひとりの負担が重くなっている。
4. 受給者が増加し、負担者もそれに比例して増加しているため、人口構成の変化が一人あたりの負担額に与える影響は見られない。

問12 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)

1. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
3. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
4. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 貨幣経済が農民の生活にまで浸透し、借金による生活の困窮が深刻化したため、実力行使による解決を図った。	室町時代になると、年貢を錢で納める「代錢納」が広まるなど、農民の生活に貨幣が深く関わるようになりました。その一方で、生活に困窮して土倉や酒屋などの高利貸しから借金（ヨキメ）をする農民も増え、その負担から逃れるために「徳政（借金の帳消し）」を求めて団結する土一揆が頻発しました。柳生の徳政碑文などは、こうした民衆の要求が実を結んだことを示す貴重な記録です。
問2	答え 4 鎮護国家	奈良時代の聖武天皇は、天然痘の流行や貴族の対立による社会の不安を解消するため、仏教によって国家を安定させる「鎮護国家」の思想を推進しました。この方針に基づき、都には東大寺、諸国には国分寺・国分尼寺が建てられることとなりました。
問3	答え 4 違憲審査権（法令審査権）	裁判所が法律や命令などが憲法に適合するかどうかを決定する権限は、日本国憲法第81条に規定されています。この権限はすべての裁判所に認められていますが、最高裁判所がその最終的な判断を下す機関であるため、最高裁判所は「憲法の番人」とも呼ばれます。
問4	答え 4 イスラム教（アラビア半島）	アフリカ大陸の北部地域は、地理的にアラビア半島に近く、歴史的にもイスラム世界の一部として発展してきました。現在もサハラ砂漠周辺の国々ではイスラム教が生活の一部となっており、アラビア半島にある聖地メッカを向いて礼拝が行われるなどの特徴があります。
問5	答え 4 ドイツ	ドイツは1990年代から環境政策を重視しており、再生可能エネルギーへの転換を積極的に進めてきました。その結果、主要国の中でも、経済規模を維持しながら二酸化炭素の総排出量と国民一人当たりの排出量のどちらも減少させることに成功した稀な例として知られています。
問6	答え 2 国民が持つ健全な社会常識や感覚を、裁判の内容や刑罰の決定に反映させること。	裁判員制度は、専門家である裁判官だけで判断を下すのではなく、一般の国民が刑事裁判のプロセスに参加することで、社会の一般的な感覚（良識）を判決に反映させることを目指しています。選択肢にある「検察官の判断を審査する」のは検察審査会の役割であり、「最高裁判所の裁判官を国民がチェックする」のは国民審査という別の制度です。裁判員は必ず裁判官と共に審理を行い、一人で判決を下すことはありません。
問7	答え 1 仏（ほとけ）・法（みのり）・僧（ほうし）	十七条の憲法は、豪族たちが争うのをやめ、天皇を中心とした国家体制を整えることを目的として制定されました。第二条に記された「三宝」とは、仏教の根本である「仏（ブツダ）」「法（教え）」「僧（集団）」を指します。聖徳太子は、これらを敬うことが正しい政治や道徳の基盤になると考え、仏教の教えを政治に取り入れました。
問8	答え 1 高所得者の負担を重くすることで、税負担の垂直的な公平を図る役割	消費税のような「逆進性（所得が低いほど負担感が強まる性質）」を持つ税に対し、所得税に累進課税を適用することで、支払い能力がある人ほど多く負担するという「垂直的公平」を実現し、社会全体の税負担のバランスを調整しています。
問9	答え 3 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。	東京国際空港（羽田空港）は、日本国内の主要都市を結ぶ航空ネットワークの最大の拠点として機能しています。近年は国際線の発着枠も拡大されていますが、統計上、旅客全体に占める国内線の利用者の長さ（割合）は国際線よりも数倍大きく、国内移動における重要性が非常に高いことが特徴です。
問10	答え 3 京都に建立する大仏の釘やかすがいなど、宗教的な建造物の材料として利用する	秀吉は刀狩令の中で、没収した武器を方広寺の大仏建立に役立てると説明しました。これにより、武器を差し出すことは現世の安全だけでなく、来世の幸福にもつながるという宗教的な「建前」を用いることで、農民からの抵抗を抑え、円滑に武器を回収しようとする狙いがありました。
問11	答え 3 保険料を支払う負担者が減少する一方で、年金を受け取る受給者が増加しているため、現役世代一人ひとりの負担が重くなっている。	日本の公的年金制度は、現役世代が支払う保険料で高齢者の年金を支える仕組みが基本となっています。少子高齢化の進展により、支え手となる「負担者」の数が減り、支えられる側の「受給者」が大幅に増えることで、現役世代一人あたりの経済的な重荷が増すという構造的な課題が生じています。
問12	答え 2 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。